

生駒市長 山下 真 殿

## 独自目標達成状況についての意見書

平成25年7月3日  
生駒市環境マネジメントシステム推進会議  
監査専門チーム会議  
代表 楠下 孝雄  
副代表 矢田 千鶴子

### 1. 達成状況の確認実施日時

平成25年7月3日（水） 14:00～15:30

### 2. 確認対象

生駒市役所

### 3. LAS-E確認内容

【独自目標（平成24年度実績）監査】

第1ステージ No.12, No.23, No.30

第2ステージ No.12, No.21, No.30

### 4. 確認結果（別紙のとおり）

第1ステージ No.12 : ○ No.23 : × No.30 : ○

第2ステージ No.12 : ○ No.21 : △ No.30 : ○

## 5. 所見

LAS-E 独自目標の平成 24 年度実績の部門別評価として、第 1 ステージについては、エコアクション部門は○、エコマネジメント部門は×、エコガバナンス部門は○、第 2 ステージについては、エコアクション部門は○、エコマネジメント部門は△、エコガバナンス部門は○と判断いたしました。

### 1. 第 1 ステージ

エコアクション部門は、エネルギー種別では目標を達成できなかった項目があったものの、主な未達成の理由を把握されており、全体として二酸化炭素排出量の削減目標が達成されたため○と判断しました。しかし、施設によってはエネルギー消費が増えてしまったところもあります。市全体で目標達成することは重要ですが、施設単位で PDCA サイクルが確立することも重要な目的の一つですので、データの集約と公開の方法を工夫してください。

エコマネジメント部門では、推進本部による点検回数も環境施策研修の実施回数も目標に至りませんでした。しかし、多くの業務を抱えながらもより良いシステムを構築しようとする事務局の前向きな姿勢は感じられます。中間時点での点検評価は推進本部員を招集した会議でなくても、例えば政策企画会議との同時開催やメール審議といった方法も考えられます。点検するポイントを絞れば、情報の取りまとめや会議開催の負荷も減らせます。職員研修も事務局が主催するものだけでなく、ECO-net 生駒が実施するものに参加を促したり、テーマを定めて職場研修を実施したりするなど、あらゆる機会を活用できるでしょう。会議や研修の実施回数ばかりにとらわれず、必要な内容を然るべき時期に点検・学習できるように、戦略的に会議や研修を設定していただきたいと思います。

エコガバナンス部門では、目標を大きく上回るホームページの更新や広報記事掲載が行われ、市民に環境情報を積極的に公開しようとする意欲を感じました。活字による発信だけでなく、出前講座も有力な情報発信の手段となりえるので、より多くの市民に申し込んでもらえるようなアプローチが必要と考えます。今後は、発信した情報を市民がきちんと受け止め、行動に繋がっているかどうかを検証しなければなりません。講座やイベントの参加人数で確認したり、参加者に聞き取りを行うなどして、情報発信の効果を検証できると良いでしょう。

### 2. 第 2 ステージ

エコアクション部門は未達成の項目があるものの、施策の後退ではないと判断し○としました。ごみ排出量については、事業系ごみの処理手数料値上げをきっかけとして家庭系ごみに移行した分が多かったようです（本来は家庭系ごみとして出されるべきマンションの排出分の一部が、従来は事業系ごみとして民間事業者処理委託されていた）。このように、政策手段の実施状況により削減幅は大きく変わります。政策手段の実施予定を踏まえた目標値の設定ができるようになると、より望ましい形で進捗管理ができると思います。

エコマネジメント部門は、環境基本計画の重点プロジェクトの進捗を中間評価する仕組みのあり方について、検討する余地があります。日常的に ECO-net 生駒のメンバーと情報を共有しながら事業を進めているので、担当課レベルはある程度の点検評価はできていると思われます。しかし、全体の進捗状況を把握し共有することも重要ですので、前述の推進本部会議の開催方法と併せて仕組みを検討してください。

エコガバナンス部門はいずれの項目も目標を達成し、幅広い市民との意見交換と、パートナーシップ活動を深めるという両面から、市民の巻き込みに努力されていることが窺えます。環境をテーマにした市民との意見交換会や懇談会は、環境政策課以外が実施しているケースもあると考えられますので、庁内での情報共有をより進めていただきたいと思います。また、ECO-net 生駒の活動として意見交換を行うことも多いので、その成果を市が共有できれば、意見交換の機会はより拡大すると思われます。

全般的に、パートナーシップによる施策の展開に力を入れており、良い形で結果が表れてきたプロジェクトもあります。今後も ECO-net 生駒との協働を深め、過大な負担とならないような効率の良いシステムを構築し、施策・事業の質を高めていただけることを期待します。

別紙 生駒市環境マネジメントシステム 平成24年度実績と評価

ステージ	部門	目的	項目	平成24年度目標	平成24年度目標値		平成24年度実績値			目標の達成状況	確認結果	
						削減目標		削減実数				目標の達成状況
								二酸化炭素換算 (t-CO <sub>2</sub> )				
第1ステージ	A	地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を平成23年度比で1.6%以上削減する。	-1.6%	254 t-CO <sub>2</sub>	-1.6%	261 t-CO <sub>2</sub>	261	○	○	
			電気	電気使用量を平成23年度比で1.8%以上削減する。	-1.7%	657 千kWh	-2.2%	840 千kWh	191	○		
			ガソリン	ガソリン使用量を平成23年度比で2.5%以上削減する。	-2.5%	2,073 l	-0.7%	572 l	1	×		
			軽油	軽油使用量を平成23年度比で2.5%以上削減する。	-2.5%	1,202 l	-41.3%	19,865 l	51	○		
			都市ガス	都市ガス使用量を平成23年度比で1.6%以上削減する。	-1.6%	3,280 kg	-1.3%	2,690 kg	9	×		
			重油	重油使用量を平成23年度比で増加させない。	—	—	4.0%	▲12,000 l	▲33	×		
			灯油	灯油使用量を平成23年度比で増加させない。	—	—	17.5%	▲2,337 l	▲58	×		
			LPG	LPG使用量を平成23年度比で1.6%以上削減する。	-1.6%	854 kg	4.9%	▲2,598 kg	▲1	×		
	循環型社会の構築	紙類使用量	OA用紙の使用量を平成23年度比で増加させない。	—	—	-4.0%	2,265 kg	—	○			
		ごみ排出量	ごみの排出量を平成23年度比で3.1%以上削減する。	-3.1%	1,640 kg	-5.7%	3,039 kg	—	○			
	健全な水循環	水使用量	水使用量を平成23年度比で増加させない。	—	—	-4.6%	15,438 m <sup>3</sup>	—	○			
M	推進本部の点検評価回数	環境マネジメントシステムの進捗状況を環境マネジメントシステム推進本部で年2回以上点検評価します。 ※7月頃：前年度の取組結果を踏まえた点検評価	2回	—	1回			×	×			
	環境施策研修の実施回数	環境マネジメントシステムやその他環境に関する研修を年4回以上実施します。	4回	—	2回			×				
G	情報公開に関する数値目標	環境情報を広報やホームページで年18回以上提供します。	18回	—	29回			○	○			

ステージ	部門	目的	項目	平成24年度目標	平成24年度目標値		平成24年度実績値			目標の達成状況	確認結果
						削減目標	削減実数		目標の達成状況		
								二酸化炭素換算(t-CO <sub>2</sub> )			
第2ステージ	A	基本計画の重点プロジェクトの推進	「取り戻そう子どもが願う竜田川」	ECO-net生駒により、竜田川いいとこさがしツアーを年に1回実施します。	1回	—	1回	—	—	○	○
				竜田川本流の水質測定結果について、観測地点4地点のうち1地点で、BODの年間平均値を5mg/l以下とします。	1地点	—	1地点	—	—	○	
			「環境にやさしい売り方・買い方を推進する生駒」	ECO-net生駒により、「環境にやさしい売り方・買い方」に関する意見交換会を年に2回開催します。	2回	—	2回	—	—	○	
				家庭系ごみを平成23年度比で51t以上削減します。	51t	—	-387 t	—	—	×	
				再資源化率を18.7%(平成23年度)から、22.5%に向上します。	22.50%	—	19.50%	—	—	×	
				事業系ごみを平成23年度比で115t以上削減します。	115t	—	593 t	—	—	○	
			「みんなでつくる緑潤うまち」	ECO-net生駒により、みどりのカーテンコンテストを年に1回開催	1回	—	1回	—	—	○	
	「太陽光発電応援団」	ECO-net生駒により、太陽光発電講習会を年に1回開催します。	1回	—	0回	—	—	×			
	M	環境特性の把握に関する数値目標	地域の環境特性(大気、水質等)及び二酸化炭素排出量を年に1回とりまとめ、課題を明らかにします。	1回	—	1回			○	△	
			環境基本計画の重点プロジェクトの進捗に関する数値目標	環境基本計画の重点プロジェクトの進捗状況を年に1回以上照会し、推進本部で点検評価します。	1回	—	0回				
	G	環境施策への市民参画に関する数値目標	ECO-net生駒により、環境に配慮する市民やリーダーを育成するための養成講座を年に1回開催します。	1回	—	1回			○	○	
			環境に関するイベントを市民と協働して年12回以上開催します。	12回	—	37回			○		
生駒市又はECO-net生駒が開催するイベントに生駒市民の総人口の10分の1(12,096人相当)に参加していただきます。			12,096人	—	13,052人			○			
環境施策への市民参画に関する数値目標		環境をテーマにした市民との意見交換会を年に1回以上開催します。	1回	—	0回			○			
		パートナーシップ組織の環境活動内容の把握に関する数値目標	ECO-net生駒の環境活動内容について、年に1回とりまとめ、「生駒市の環境」で公開します。	1回	—	1回			○		